

## 日本の幼きイエス会の、これからの6年間の歩み

### 招き イエスと出会う

イエスの眼差しで、会のカリスマから現実を観る。

「しかし、私は言う」というイエスの言葉を預言的な招きとしていただき、現実への応え方を探る。

貧しい人の叫び、大地の叫びを聴く。

一人ひとりが、恐れなく、自由に本音で語り合える共同体を作る努力を続ける。

### 私たちの応え

自分が変わる。自分のこだわり、枠を乗り越える。

自由になる。

違いを前向きに受け入れる。いのちのつながりを意識し、

促進する。

いのちを育む。

### 日常生活と使徒職において

総会の招きを受け、日本管区が応えて生きるすべてを祈りで支える。

そのために必要な情報提供を、互いに行う。

- 生涯養成： 多様性、異文化など「違い」の現実を会のカリスマから考察するための助けとして。
- 連携、協働： 信徒、人々と積極的に進める。
- 難民、移住者をはじめ、困難を抱えている人々、特に子供たちの教育
- 「共に暮らす家」を大切にするために、具体的な方法で取り組む。

\*以上に関して、毎年振り返りの時を持つ